



すだ 須田こうへい

県政レポート

立憲民主党・民権クラブ

須田こうへい プロフィール

- ◇神奈川県議会議員(横浜市旭区選出)…30,961票でトップ当選
- ◇立憲民主党・民権クラブ 副団長
- ◇早稲田大学商学部卒業 / 巣鴨学園卒業
- ◇元・江田憲司公設秘書・あおやぎ陽一郎秘書、古賀茂明Forum4メンバー
- ◇コンサル会社を経て、輸入車ディーラー取締役。後に保険代理店代表。民間経営者×秘書経験の「現場力」

- ◇政治信条:「改革はするが、戦争はしない」「政治は社会的弱者のためにある」
- ◇総務・政策常任委員会…県政の「見える化」を推進
- ◇学童保育、ボーイスカウト・ガールスカウト、女性活躍、武道振興(※柔道初段)、海外親善等の議連所属
- ◇横浜市青少年指導員 / 南本宿在住

民意を得ない、「横浜へのカジノ(ばくち)誘致にNo!」

所属の総務・政策常任委員会にて、IR(カジノを含む統合型リゾート)に対して、質疑をいたしました。神奈川県は「指定都市(横浜市)がIRを誘致するなら、広域自治体としてIR推進に協力する」立場です。しかし市へのパブリックコメントで94%が反対し、無差別抽出の世論調査でも3分の2近くが反対です。

須田こうへいは、韓国の観光地滞在ホテル型カジノに加え、自国民利用可能の江原(カンウォン)のカジノも視察し、風俗店やサラ金・質屋が立ち並び犯罪率や自殺率が急増した実態を調査・研究してまいります。

「しがらみのないクリーンな政治」でカジノを止める!

少子高齢化による将来の税収減を理由に、カジノ業者算出の資料で税収増を強調するIR賛成派。しかし、IR型カジノは客を囲い込むだけで、地元商店街などの地域振興にはつながりません。また消費者の経済的体力を奪い、広域経済にも悪影響です。MICE(大規模な国際展示場・ホテル・劇場)については、誘致先地元から対案としてディズニー遊覧船やF1レースの誘致とMICEを併せた、夢のある「カジノに頼らない観光政策」が提案されています。さらに、ギャンブル依存症の増加や治安の悪化、風紀の乱れ等の対策に必要な、中長期での「マイナスの社会コスト」は短期的なIRの経済効果を上回る危険性があります。一部のカジノ利権者(日本人客を狙う外資系カジノ業者等)以外に恩恵が少なく、さらに、「他人の不幸の上に成り立つ、焼き畑農業的財源対策」です。このままでは、行財政改革も十分に進まない中、カジノに絡む利権政治が横行した上、横浜市の財政そのものがカジノ頼りになる「ギャンブル依存症」になってしまいます。

シンガポールがIR型カジノの成功例として紹介されますが、インバウンド(外国人観光客の需要増)は、カジノを開設したシンガポールより、同時期の「カジノの無い日本が3.5倍」も伸ばしています。神奈川(横浜)は引き続き、日本の伝統的文化や歴史、風光明媚な四季折々の自然を活かす「カジノに頼らない観光政策」に知恵を出していくべきでしょう。また、カジノという黒船を転機に、今こそ「行財政改革」を進めるチャンスともいえます。私、須田こうへいは横浜市選出の県議会議員として、また、「しがらみのない立場」から、あらゆる手段を行使して、「地域住民の民意を得ない横浜へのカジノ誘致に反対」の活動を続けてまいります。

住民投票条例

議員発議の他、「約6万筆」の署名で住民投票を直接請求出来ます。市長会派により「否決(柵ざらし)」される見込みですが、情報発信として大変効果的

市長リコール(解職請求)

「約50万筆」の署名が必要で、住民投票派とも協働して連動した活動を展開し、民意の大きなうねりを生み出すことが必要。選挙で「IR反対候補の勝利」へ

市長選(21年夏)

すでに時遅く、IR事業者との契約が進み、莫大な違約金設定される可能性が高い

※横浜市議会の責任を問う「議会リコール」の制度も存在します

公約実現!!神奈川県政の「見える化」が一步前進!!



▲決算特別委員会で須田が担当の公営企業では、「水道管路情報を無料でネット公開」。オープンデータとして不動産売買や水道工事で活用されています。「見える化」の好事例です。

税金の効率的な運用チェックのためには、徹底した情報公開が欠かせません。先の第二定例会、オープンデータの利活用のため、地方公会計制度に基づく財務諸表のネット公開について、従前のPDF形式に加え、統計処理の加工がしやすいエクセル形式での公開を要望、実現いたしました。小さなことからコツコツと改革を進めてまいります。

また、第三定例会では「未病の見える化」について、質疑をしました。県開発の健康管理アプリ、「マイME-BYOカルテ」は何億円もの予算が投じられておりますが、集積されたビッグデータの二次利用の目途がたっておりません。県民の健康維持・増進への利活用が期待されます。

また、「収支報告書のネット公開」など、情報公開によるクリーンな政治を実現すべきと考えます。会派内でも積極的に訴えてまいります。

神奈川(横浜)の「美味しい中学校給食にYES!!」

ハマ弁は我々の要望もあり当日注文可能になったものの、横浜市が実施したパブリックコメントでは、中学校給食を望む声が94.8パーセントもありました。林市長が横浜市選出県議との面談にいらした際には、予算計上された「巨額の赤字見込のオペラ・バレエ専用劇場」と「中学校給食実現」の政策的優先順位について意見いたしました。皆様は文化振興政策と子育て支援政策、どちらを優先すべきとお考えになりますか？



▲「ハマ弁」は1食6300円から2500円の税金投入で推移

政治は社会的弱者のためにある!



本会議で古賀てるき議員の補助者を務めました。その中で、特別支援学校の教職員の、肢体不自由・重複障害の生徒さんへの医療的ケアが責任も重く高負担になっていることから、負担軽減策を県に要望しました。本件は私が秘書時代に現職教員の声を集め、古賀議員に要望したものです。本会議で知事に提案され、感無量です。他に「関東ろう者大会」に参加、「神奈川県聴覚福祉センター」も視察いたしました。

最高にワクワクする、神奈川をつくろう!

政策局・未来創生課との質疑を前に、アジア先進都市、中国・深圳のイノベーション事例を個人視察してまいりました。中国ではドローンを活用して、運転中のスマホ操作やシートベルト着用の交通違反取締りをスタートさせています。日本は世界最高峰の科学技術がありながら、社会実装へのスピード感で後れをとっていると感じます。



▲ドローン进行操作し、空中撮影

質疑では、黒岩知事の提案説明にありました「テクノロジーの追究とヒューマンな触れ合いをクロスさせた未来社会創造」という一見ポエムのような演説について、将来展望を詳しく掘り下げました。

モデル事業として「VRを活用し、寝たきりの患者さんが家族旅行を疑似体験し、思い出を共有する。」「ドローンに移動電波局の機能を付加し、災害時、電波の入らないエリアに通信を復旧させ、聴覚障がいの方にも文字情報を伝える。」「神奈川県がメルカリと提携し、フリーマーケットの売り上げを被災地の復興支援金に回せるようにする。」などの興味深い答弁が引き出されました。建設的な質疑を通じ、テクノロジー×ヒューマンの未来社会創造が確認できました。「最高にワクワクする、神奈川の未来」をつくってまいりましょう!

